

寸法記入方法

形を表現するために寸法を必ず指定する
(一ヶ所でも抜けがあると作れない)

寸法の種類

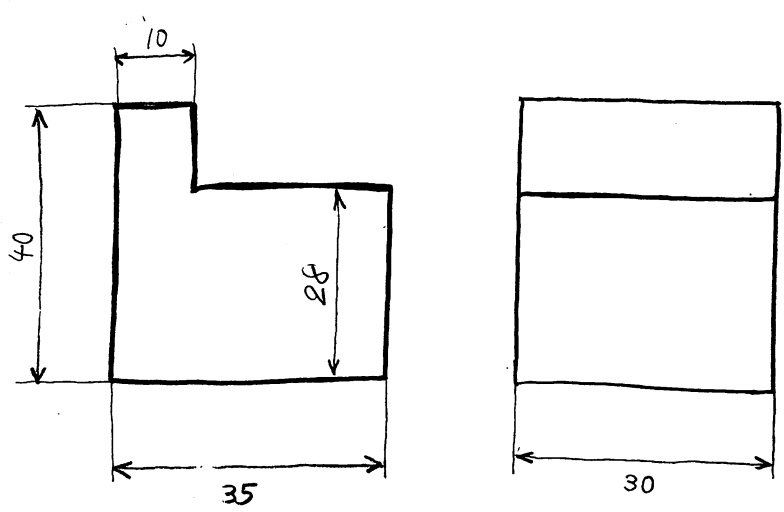
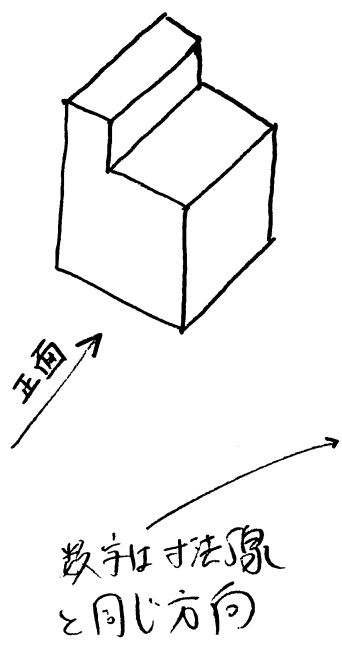
- ① サイ寸法 (大き±) 単位 mm
- ② 位置寸法 (穴の中心位置) 単位 mm
- ③ 角度寸法 (角度) 単位: 度 または rad.

一般原則

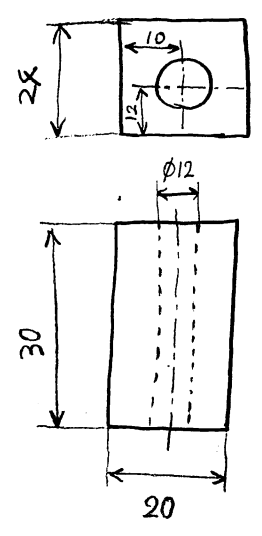
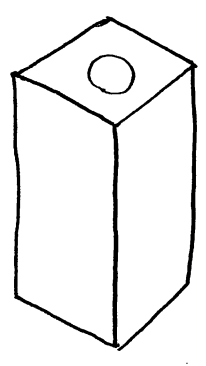
(作りの立場に立ち、材料を加工する場所を決めやすくする)

- ① なるべく正面図を集める。正面図は最も特徴を表現する
- ② なるべく重複を避ける。全分を線は描かない
- ③ 計算して数値を求めるとき必要のないものは

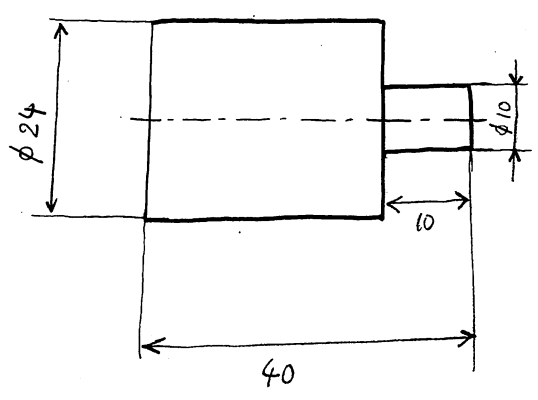
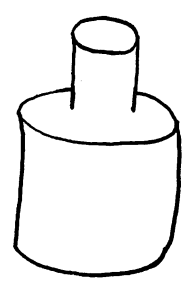
全体寸法は必ず指定する
(全長, 全幅, 全高)



正面図と側面図で打て寸法は指定してあげて
上面図は不要

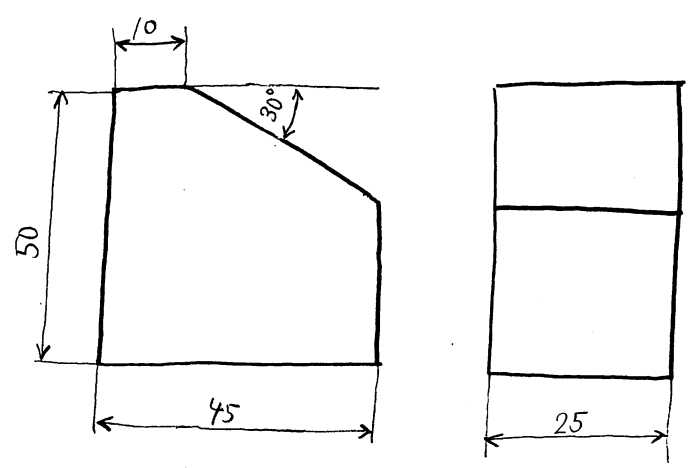
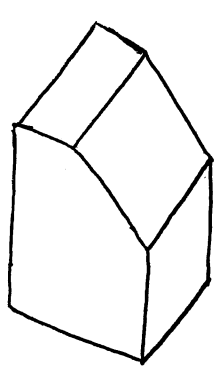


φ: 直径を表す



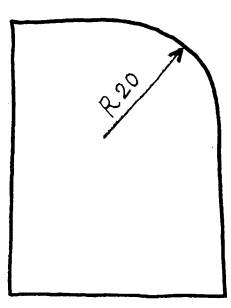
狭いときは
矢印を外に出す

φ24とφ10で
図形体であることが
分かる

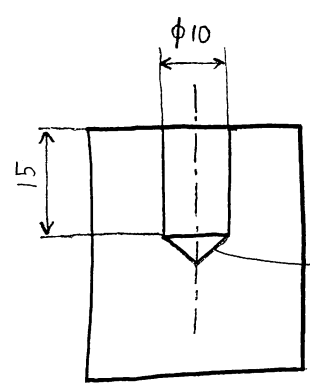


円弧

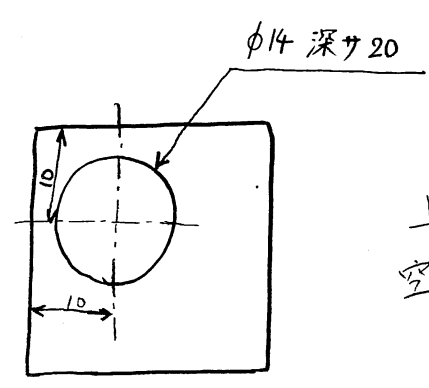
半径を R で表す



貫通していない穴

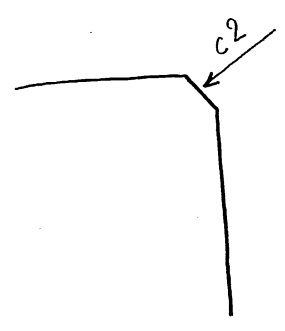


ドリルの先端は規格で決まるので指定しない



上面図だけで空ける穴が分かる

角を斜めに切る

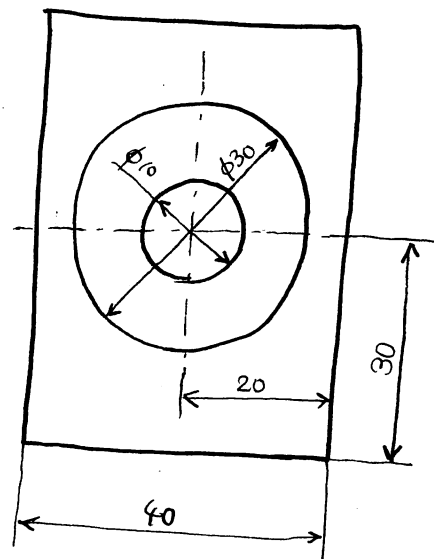
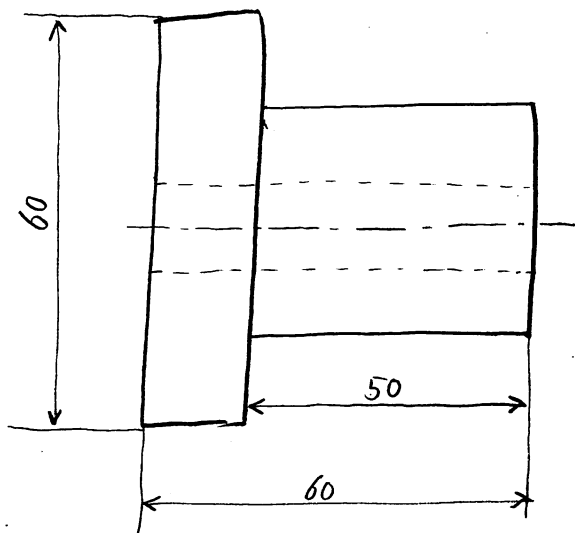
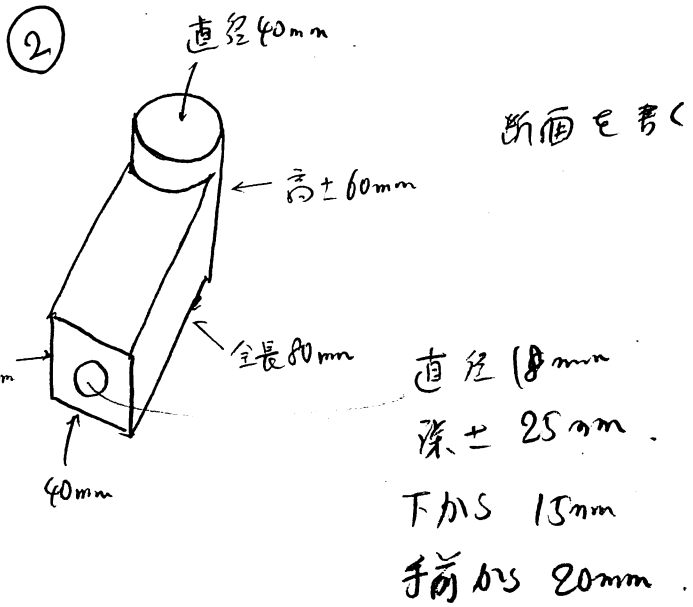
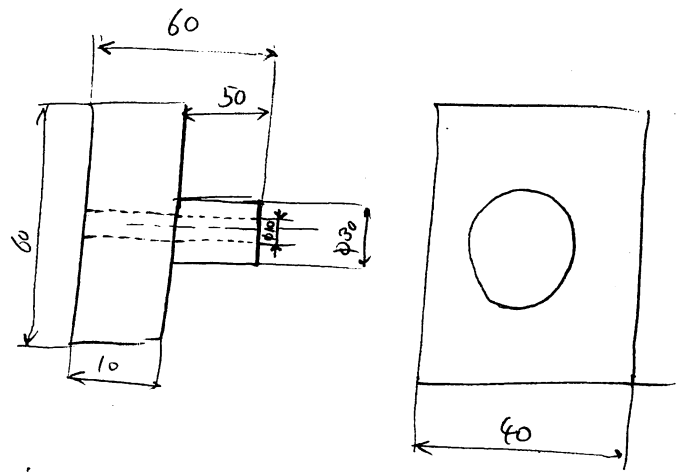
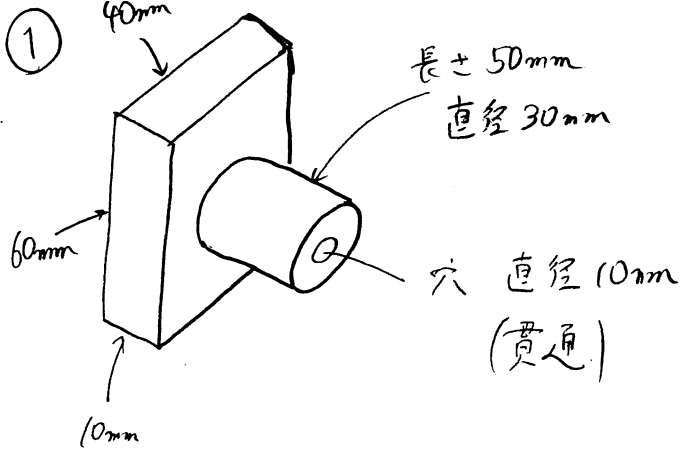


C: cut 面取り

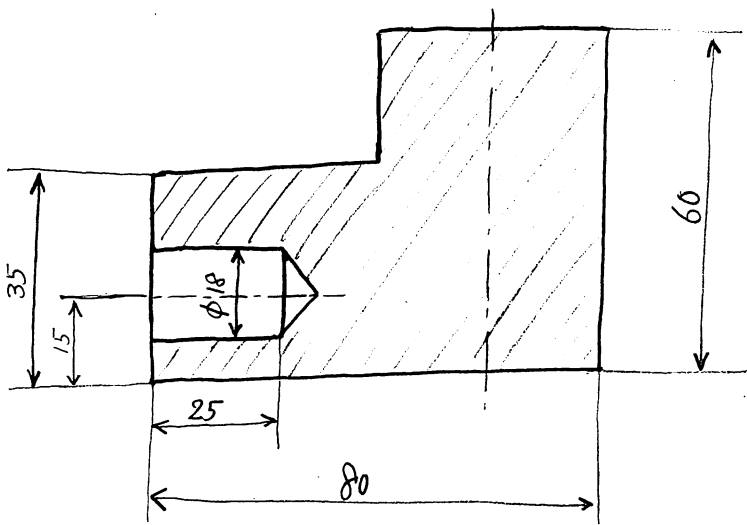
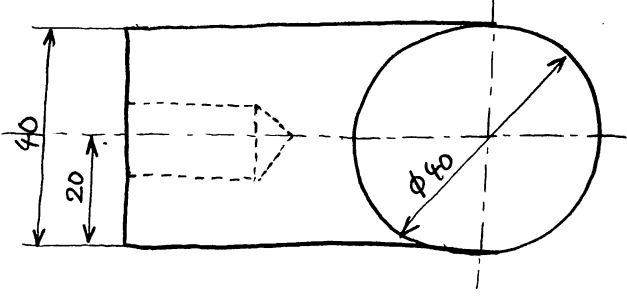
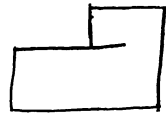
直角の角は必ず斜めに削る

90°だと刃物のように人や物を傷つける

演習



②の側面は



これは旋盤ではできない。
 フライス盤という刀物の方が
 ②転写もてつくる。